



ミライカレッジ

小美玉

ダイヤモンドシティマーケティングスクール 第1回に向けての事前ワーク

**大き目の付せんに、下記の質問へのご自身のお答えを書いて
ご持参いただけますよう、お願いいたします。**

Q1.
都心に住んでいるご友人が
「どこかもう少しゆったりしたところに移住したいなー」と
言っているのを聞いたあなた。
「小美玉のおすすめポイント」を
3つ（1つの付せんに1つ）教えてあげてください

Q2.
あなたのおすすめコメントで、
ご友人は小美玉に興味をもったようです。
「あ、でもここへんは
自分もちよといまいちなー」と
思っているポイントを1つ、
教えてあげてください。

* 付箋をお持ちでない方は、
当日ご用意いたしますので
内容を記載したメモ用紙を
お持ちください。

【記入例】

**とにかく地
元の食べ物
がなんでも
おいしい！**

模造紙に貼って
みんなで見ますので
太いペンででっかい文字で
お願いします

**〇〇屋さんが
ないん
だよなー。**



**28年度に実施した小美玉マーケティングスクール講師
加形 拓也さんからのメッセージ**

住民がまちに興味を持ち、市民であることに誇りをもち、住み続けてもらうためには、まちの魅力をPRすることはもちろん、仕事をどうするか、家をどうするか、ということまで丁寧に考えていく必要があります。

当然、行政でも様々な部署が関わってきますし、行政だけでできることではありません。

定住について考えることは、そのまま「住みよい町」について考えることでもあります。それが今回様々な立場の方において議論していただけないかと思った理由です。

いきなり、人口減少を完全に食い止めよう、というだけそれたことではなく、まずは、「小美玉市に住むかどうか迷っている人が、毎年〇〇人、喜んで小美玉市に住んでくれるようにするためにはなにができるかな」「今年、町から出て行ってしまった人が町に留まるためにはなにが必要だったのかな」という、等身大の視点で考えていければ、と考えています。